

ふくしまユニバーサルデザイン推進計画【概要版】

ユニバーサルデザインとは

「ユニバーサルデザイン」は、Universal（すべての、普遍的な）とDesign（計画、設計）という2つの言葉を組み合わせたもので、省略してUD（ユージー）と言われることもあります。一般的には「すべての人のためのデザイン」とも言われており、はじめから、すべての人の多様なニーズを考慮し、年齢、性別、身体的能力、言語などの違いにかかわらず、すべての人にとって安全・安心で利用しやすいように、建物、製品、環境などを計画、設計するという考え方です。

ふくしまユニバーサルデザイン推進計画

～多様性に寛容で差別のない共に助け合う社会をめざして～

第1章 はじめに

計画策定の趣旨等

- 本計画は、福島県全体としてユニバーサルデザインを推進していくための計画です。
 - ・平成22年3月
福島県全体としてユニバーサルデザインを一層推進するために指針と計画の二本立てから、一つの計画に統合し、「ふくしまユニバーサルデザイン推進計画」を策定しました。
 - ・平成25年3月
平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震等による災害の経験を踏まえ、誰もが安全・安心・快適に暮らすことができる社会へと更に整備を進めるため、計画を改定しました。
 - ・令和3年12月
誰一人取り残さないというSDGsの理念や新たな福島県総合計画の策定、本県のユニバーサルデザインの推進を取り巻く社会情勢の変化等を踏まえ、計画を改定しました。

計画改定の考え方

【現状】

- 社会情勢の変化
 - ・人口減少・少子高齢化
 - ・社会の多様性の深化（年齢・性別・国籍・障がいの有無などの違いの尊重）
- 県民意識の状況
 - ・ユニバーサルデザインに関する認知度 65.3%
- SDGs（持続可能な開発目標）の達成

【考え方】

- 少子高齢化に対応するまちづくり等の推進
- 多様性社会に対応する取組の推進
- 県民意識の向上に向けた取組の推進
- SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組の推進



※「多様性を尊重するところのUD」と「多様性と包摂性」を重要な視点として施策を展開していきます。

計画の位置付け

- 福島県総合計画の部門別計画として、総合計画の基本目標である「やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれるふくしまを共に創り、つなぐ」をユニバーサルデザイン推進の面から実現することを目指しています。

計画期間

- 令和4年度～令和12年度（9か年計画）

計画の構成

第1章 はじめに

- 1 計画策定の趣旨等
- 2 計画改定の考え方
- 3 将来の姿及び計画期間
- 4 計画の位置づけ
- 5 計画の構成

第2章 計画が目指す姿

1 多様な人々が共に生きる社会

2 暮らしのユニバーサルデザイン

3 復興におけるユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザイン推進の基本姿勢と推進の視点

ユニバーサルデザイン推進の基本姿勢

すべての人のためという「意識づくり」

ユニバーサルデザイン推進の視点

思いやりをシステム化(ふくしま型UDの思想)

第3章の1「基盤施策」

ユニバーサルデザイン推進の
基盤づくり

教育

人材育成・活動支援

啓発・広報

交流

安全・安心

社会参加

第3章の2「実践施策」

実践的ユニバーサルデザインの
推進

まちづくり

ものづくり

情報・サービス

第4章 計画の推進について

県の役割・県以外の主体への期待、進行管理

第2章 計画が目指す姿

<p>1 多様な人々が共に生きる社会</p>	<p>すべての人がお互いの人権や尊厳を大切にし支え合い、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる共生社会を実現することを目指しています。</p>
<p>2 暮らしのユニバーサルデザイン</p>	<p>様々な場所や空間、施設や設備などがユニバーサルデザインの考え方で作られ、ユニバーサルデザインの考え方で情報やサービスが提供され、そこで出会う人がユニバーサルデザインの考え方を理解し行動することで、日々の暮らしが快適であることを実感することができます。思いやりにあふれた『ふくしま』の実現を図っていきます。</p>
<p>3 復興におけるユニバーサルデザイン</p>	<p>誰もが少しでも安全・安心・快適に過ごせるよう、あらゆる場面で、ユニバーサルデザインの考え方を重視し取り入れていくことが、ふくしまの復興への力になっていきます。</p>
<p><キーワード> ~“思いやり”をシステム化~ (ふくしま型UDの思想)</p>	

第3章 県の取組

- ユニバーサルデザインを推進していくにあたり、最も基盤となるものが「**多様性を尊重するところのユニバーサルデザイン**」です。
- ふくしま型UDは、**ハードウェアとソフトウェア（人の心や意識など）が相互に補完し合うこと**で実現されます。

<p>基盤施策における推進分野</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 教 育 人権への気づきの機会づくりやUDに関する学習を推進 2 人材育成・活動支援 人権尊重の推進やUDに取り組む人材の育成及び個人や組織の活動などを支援 3 啓発・広報 人権啓発とUDの考え方や必要性を普及 4 交 流 性別や国籍等、様々な人々の交流を促進 5 安全・安心 相談支援やサポート体制、災害時の支援体制などの充実 6 社会参加 障がい者や外国人など社会参加しやすい制度や環境の整備を推進
<p>実践施策における推進分野</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 まちづくり 公共建築物、道路、交通機関、公園など社会的基盤の整備においてUDを推進 2 ものづくり UD製品の開発・普及と公共的な場などにおけるUD製品の調達を推進 3 情報・サービス 公共的な場におけるUDの考え方を取り入れた情報・サービスの提供を推進

第4章 計画の推進について

- ユニバーサルデザインを推進していくためには、県だけでなく、市町村、県民、民間団体、事業者のそれぞれが、共通の理解・目標の下、ユニバーサルデザインの普及を担いながら、連携・協働して取り組んでいくことが重要です。
- 復興に向けた取組を行う上では、それぞれが連携を強化し、県一丸となって取り組んでいくことが必要です。

連携・協働による推進

- 1 県の役割
- 2 市町村への期待
- 3 県民への期待
- 4 民間団体への期待

主な指標

項目	現状値 (R2年度)	目標値 (R12年度)
「多様性を理解した社会づくりが進んでいる」と回答した県民の割合	—	80%以上
ユニバーサルデザインに関する県民の認知度	65.3% (R3)	90%以上
「やさしい日本語」交流事業参画者数 (累計)	1,711人	10,000人
やさしさマーク交付件数 (累計)	442件	642件
おもいやり駐車場利用制度協力施設数 (累計)	1,240施設	1,360施設
市街地等における無電柱化整備率	46%	57%



福島県生活環境部男女共生課
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16
電話：024-521-7188
E-mail：danjo@pref.fukushima.lg.jp